

# 元気な100歳2人を表彰

田中の嶋田さんと安永3町内の重田さん



息子の辰雄さんとともに表彰を喜ぶ嶋田さん

今年3月にめでたく百歳を迎えた嶋田直さん(田中)と重田フジ子さん(安永3町内)の二人に対し、町から表彰状と敬老祝金が贈られました。嶋田さんは明治43年3月17日生まれ。息子の辰雄さんと一緒に暮らしています。

誕生日は、日ごろ楽しみに通っているデイサービスセンターごらくの仲間や施設スタッフ大勢と一緒に祝いました。住永町長から表彰状を受け取ると、嬉しそうに再度読み上げ、十八番の「憧れのハワイ航路」を

張りのある声で披露しました。重田さんは、明治43年3月25日生まれ。現在はケアポート益城に入所しています。

お祝いに駆け付けた家族に長寿の秘けつを尋ねると、規則正しい食生活と若いころに培った丈夫な体というほど元気なおばあちゃんです。

住永町長が「もつともつと長生きしてください」と励ますと、「分りました。ありがとうございます」と笑顔で答える重田さん。会話が弾んでいました。



住永町長との会話が弾む重田さん

## 地道なボランティア活動に表彰状

音声訳ボランティアの樋口こづ江さん

長年にわたり音声訳ボランティアとして活動を続ける樋口こづ江さん(安永3町内)が3月25日、熊本県社会福祉功労者の表彰を受けました。

樋口さんは約9年間、朗読ボランティアとして視覚障がい者の方の読書環境の充実に尽力し、録音図書校正員として、より正確な録音図書製作に協力しながら、ボランティア養成事業の講師も務めています。

樋口さんは「受賞できたのは、町音声訳ボランティア『こまどり』の皆さんや、家族の支えのおかげと感謝しています。これからも地道な録音図書作りが続けられれば」と話していました。



表彰を受けた樋口さん(右)

住永町長に目録を手渡す陣内会長(左)



## 子どもたちのために使って

熊本りんどうロータリークラブからテント寄贈

3月25日、熊本りんどうロータリークラブ(陣内照男会長)から、地域の子どものために役立ててほしいと、町へテント1張の寄贈があり、住永町長に目録が渡されました。

同クラブからの寄付は平成19年から毎年行われており、今回が4回目。住永町長は「ご趣旨に沿うよう、学校に設置し、運動会や地域のイベントなどに積極的に活用させていただきます」とお礼を述べました。

なお、今回いただいたテントは、広安西小学校に贈られることになりました。